



エンジニア紹介資料

PROFILE

テクニカルシニアマネージャー

奥山 直人(34) おくやま なおと

2007年に組込系開発会社にてエンジニアのキャリアをスタート。その後、放送機器開発やプリンタ評価ツール開発を経て、2016年ウィナス入社。ウィナスでは、大手携帯キャリアのサポートシステム、開発手法を研究するR&D、基幹システムのリプレイス開発に携わり、組込開発からWEBシステム開発のフロント、バックまで幅広い技術と知見を得て、2021年10月にテクニカルシニアマネージャーに就任。現在は、開発部メンバーのマネジメントと、MAU40万の大規模アクセスサービスのitsmonを始め、ウィナス自社サービスを全て統括。週末は愛娘2人と遊ぶのが楽しみ。



プロダクトビジョン

多種多様な課題を技術で解決する。



どんなプロダクトを目指すか

- ①様々な業務を自動化し、ウィナスならではの技術基盤（ビッグデータ・AI）を構築する。
- ②多種多様な業種から得られる知識・経験をウィナスの技術基盤（ビッグデータ・AI）へ
- ③ユーザアクションから学ぶ、より良いUI・UXの提供

オンラインガチャ

地下アイドルや中間層アイドル、アーティストが自らのブランドを冠したガチャをプロデュースできるサービスにする。

itsmon

レシートを元にポイントを溜めて加盟店の商品と交換できる今のサービスを、会員40万人の基盤を使った購買ビックデータを分析して、企業と店舗に提供できるサービスにする。

sukueru

福袋×お得なフードロス商品を組み合わせて社会問題となっている食品ロス問題を解決するサービスにする。

runway

吉本興業と協業して実現したサービス「runway」は、双方向の動画やコメントなどで、プロのサッカー選手を身近に感じてもらうサービス。

orion

日本の生産者と海外の飲食店、小売店をマッチングさせ、簡単に日本食材の取引が出来る新しいマーケットプレイス。IT技術を駆使し、これまでアナログだった輸出手続きの全てを自動化に成功した。

その実現のためにすべきこと

01 | 自社プロダクトの完全ノーコード化

02 | DevOpsの実現

03 | 最新技術（ビッグデータ解析、AI、BI、A/Bテストなど）の習得

2022年のゴール



自社プロダクトの完全ノーコード化



DevOpsの実現



開発基盤のローコード化・改善



ガイドラインのリファクタリング・改善



UI/UX強化

ウィナスがエンジニアに与えられるもの

ウィナスが用意するガイドラインにより、高水準のクオリティで開発ができる環境を提供します。

ガイドラインは、「生産性」「品質」の向上をテーマに常に進化をしていきます！

winas

00:00:17:16

24.0%



サーバサイドエンジニアの魅力

エンジニア主導で、言語／フレームワークの提案ができるため、業務実績がない言語／フレームワークでもチャレンジできる環境。

サーバサイドの開発に留まらず、インフラ周りの構築なども関わることができる。

大量トラフィックや、大量データを扱う案件が多く、DB／クエリなどのチューニングなど普段関わることが少ない領域での開発業務もある。



フロントエンドエンジニアの魅力

CSSフレームワークなどを活用して、ウィナスの開発基盤の構築に関わることができる。(すでにある開発基盤をより良くするためにブラッシュアップしていきます。)

JSフレームワーク(Reactなど)の技術に関わることができる。

UI/UXの強化にあたり、A/Bテストやヒートマップなど、ユーザのアクションを分析/改善に関わることができる。

2022年のロードマップ(毎年更新)



開発環境

言語・フレームワーク



DB・検索エンジン



インフラ・構成管理



各種ツール





開発チームのカルチャー

- 技術選択が現場主導で意思決定できる。
 - エンジニア同士の会話が多くの現場。
 - 技術への飽くなき探究心。
 - 成長のためのチャレンジができる。
 - 選べるリモート体制。
-

開発チームのポリシー

- ノーコード・ノーぼっち(ひとりぼっちにはしない)